

長野県の金融経済動向

(2019年2月6日)

【概況】

長野県経済は、緩やかに拡大している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。また、住宅投資は横ばい圏内で推移し、個人消費は底堅く推移している。公共投資は弱含んでいる。

この間、生産は高水準横ばい圏内で推移している。雇用・所得は、着実な改善が続いている。

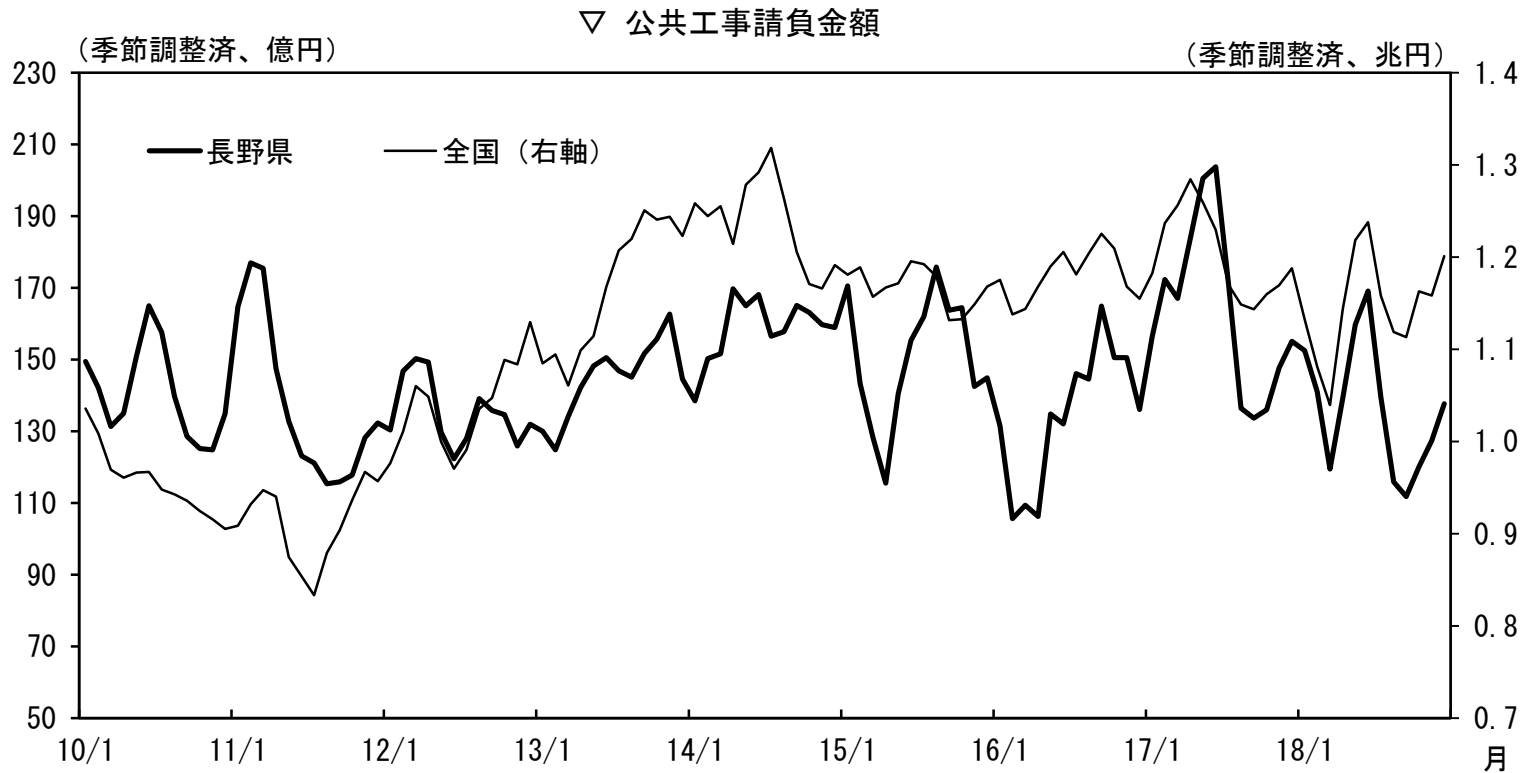
【前回からの変化】

18/12月	19/2月
<p>長野県経済は、緩やかに拡大している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は増加している。・住宅投資は横ばい圏内で推移している。・個人消費は底堅く推移している。・公共投資は弱含んでいる。 <p>・生産は高水準横ばい圏内で推移している。</p> <p>・雇用・所得は、着実な改善が続いている。</p>	<p>長野県経済は、緩やかに拡大している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は増加している。・住宅投資は横ばい圏内で推移している。・個人消費は底堅く推移している。・公共投資は弱含んでいる。 <p>・生産は高水準横ばい圏内で推移している。</p> <p>・雇用・所得は、着実な改善が続いている。</p>

1. 実体経済

公共投資

公共投資は弱含んでいる。



(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

(直近: 18/12月)

(注) 後方3ヶ月移動平均。季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は横ばい圏内で推移している。



(出所) 国土交通省、長野県「建築着工統計」

(注) 後方3ヶ月移動平均。長野県の季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(直近：18/12月)

1. 実体経済

設備投資

設備投資は増加している。

設備投資は、18年度は製造業を中心に前年度を上回る計画となっている。

輸出は、18年度は前年度を上回る計画となっている。

企業収益は、18年度は前年度を下回る計画となっている。

長野県

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	17年度	18年度 計画
製造業	8.4	14.3
非製造業	10.9	- 3.6
全産業	8.8	11.1

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	17年度	18年度 計画
製造業	11.8	3.2

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	17年度	18年度 計画
製造業	34.0	- 0.9
非製造業	0.4	- 11.3
全産業	25.1	- 3.1

全国

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	17年度	18年度 計画
製造業	6.3	15.4
非製造業	3.4	7.5
全産業	4.4	10.4

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	17年度	18年度 計画
製造業 <大企業>	7.4	3.0

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	17年度	18年度 計画
製造業	16.2	0.9
非製造業	9.1	- 2.0
全産業	12.0	- 0.8

(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(18/12月)」

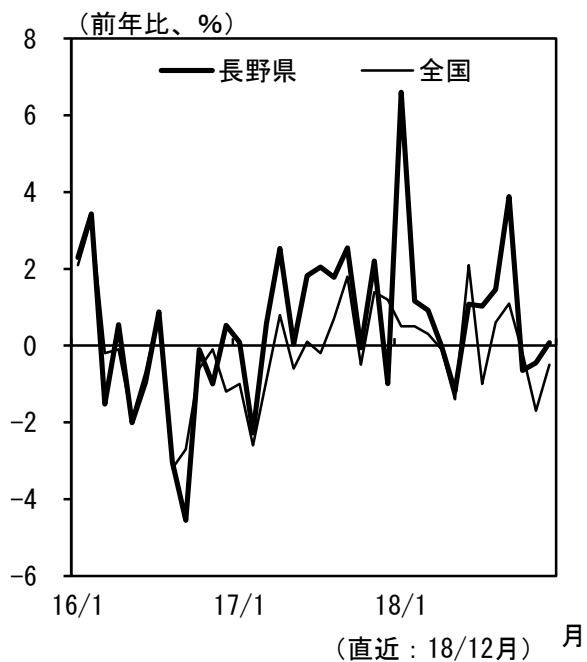
1. 実体経済

個人消費

個人消費は底堅く推移している。

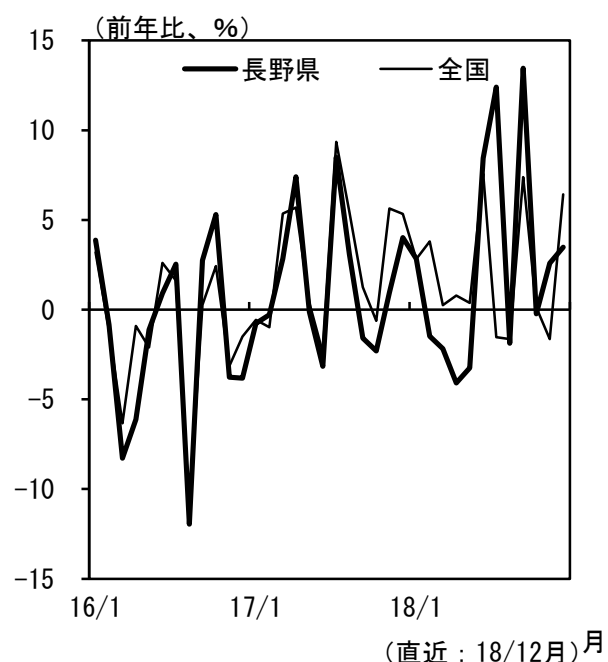
県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）や家電販売額は、底堅く推移している。新車登録台数は、堅調に推移している。

▽ 大型小売店売上高（百貨店・スーパー）



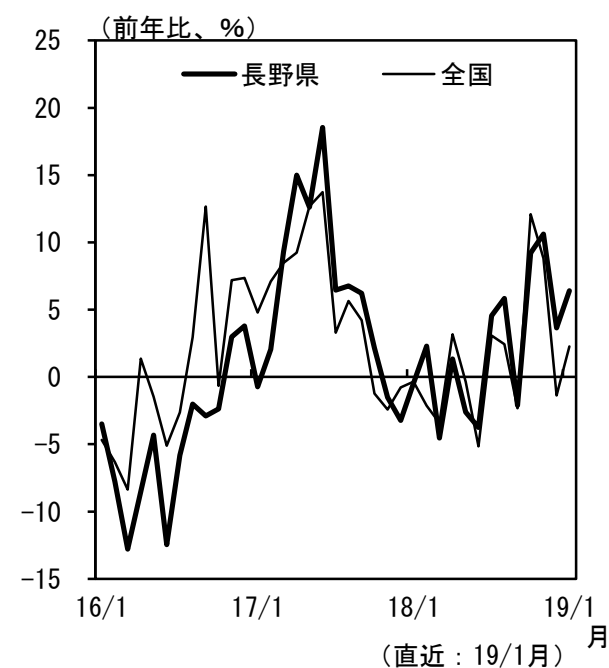
(出所) 長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」

▽ 家電販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

▽ 新車登録台数

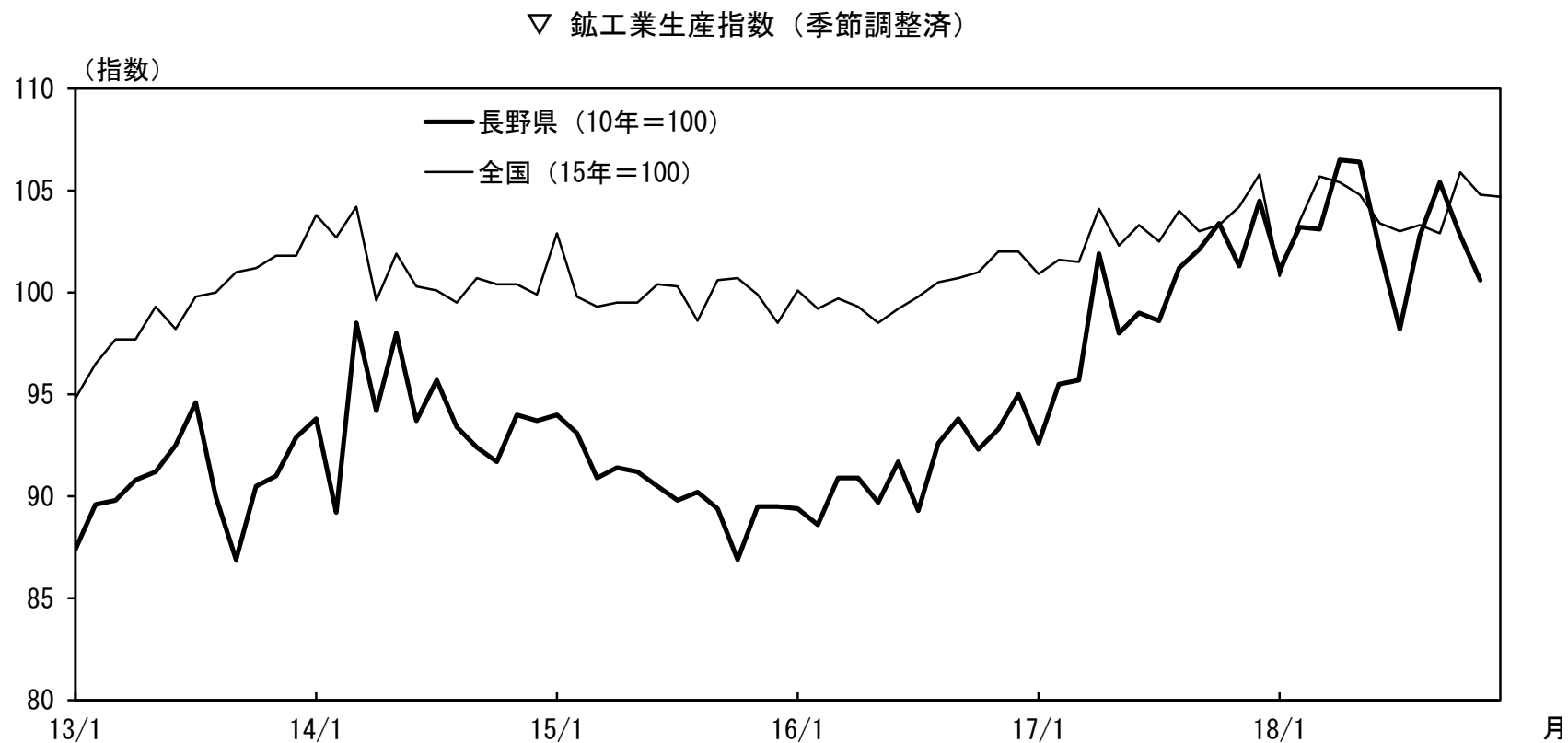


(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」

1. 実体経済

生産

生産は高水準横ばい圏内で推移している。



（注）指数は、長野県が10年基準、全国が15年基準。

（直近：長野県=18/11月、全国=18/12月）

（出所）経済産業省、長野県「鉱工業指数」

1. 実体経済

生産

半導体関連・電子部品等では、データセンターや自動車向けの受注の強まりから、生産は高水準横ばい圏内で推移している。

自動車関連では、国内外の需要動向を受けて、生産は堅調に推移している。

機械・同関連部品等では、計器は、海外需要の動向を受け、生産は高水準ながらも幾分減速している。工作機械は、自動車向けの設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。成形機は、堅調な国内需要を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。バルブは、国内での設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。

飲料では、生産は高水準横ばい圏内で推移している。

【前回からの変化】

18/12月	19/2月
<p>半導体関連・電子部品等では、データセンターや自動車向けの受注の強まりから、生産は高水準横ばい圏内で推移している。</p> <p>自動車関連では、国内外の需要動向を受けて、生産は堅調に推移している。</p> <p>機械・同関連部品等では、計器は、海外需要の動向を受け、生産は高水準ながらも幾分減速している。工作機械は、自動車向けの設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。成形機は、堅調な海外需要を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。バルブは、国内での設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。</p> <p>飲料では、生産は高水準横ばい圏内で推移している。</p>	<p>半導体関連・電子部品等では、データセンターや自動車向けの受注の強まりから、生産は高水準横ばい圏内で推移している。</p> <p>自動車関連では、国内外の需要動向を受けて、生産は堅調に推移している。</p> <p>機械・同関連部品等では、計器は、海外需要の動向を受け、生産は高水準ながらも幾分減速している。工作機械は、自動車向けの設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。成形機は、堅調な国内需要を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。バルブは、国内での設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。</p> <p>飲料では、生産は高水準横ばい圏内で推移している。</p>

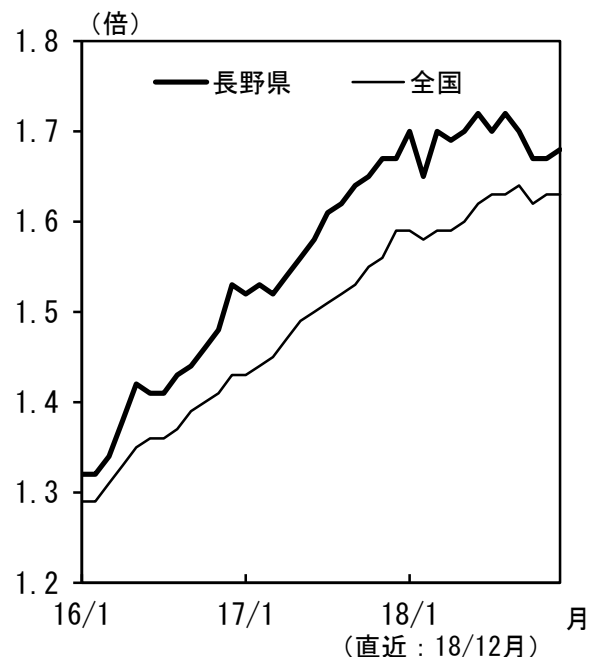
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は、着実な改善が続いている。

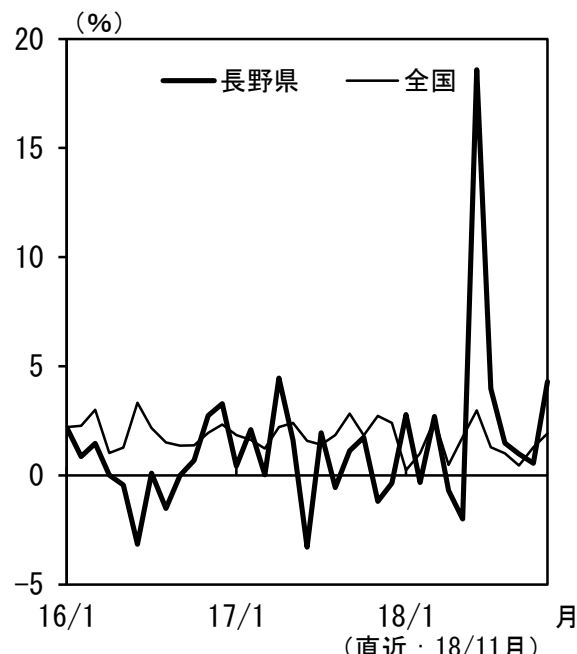
有効求人倍率は、高水準で推移している。雇用者所得、就業者数は、振れを伴いつつも緩やかに上昇している。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



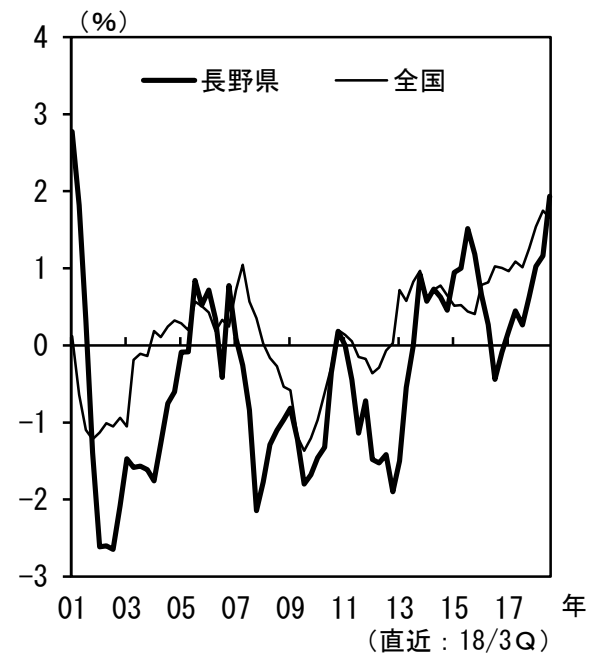
(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

▽ 雇用者所得（前年比）



(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」
(注) 現金給与総額指数×常用雇用指数
の前年比。

▽ 就業者数（前年比）

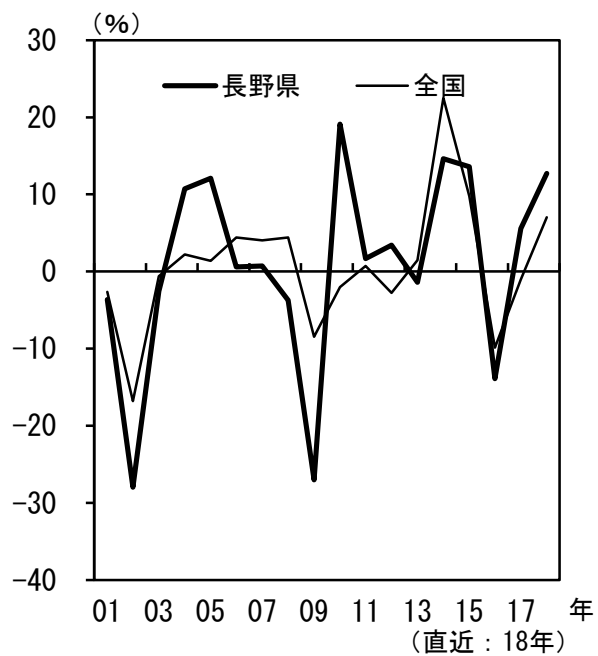


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

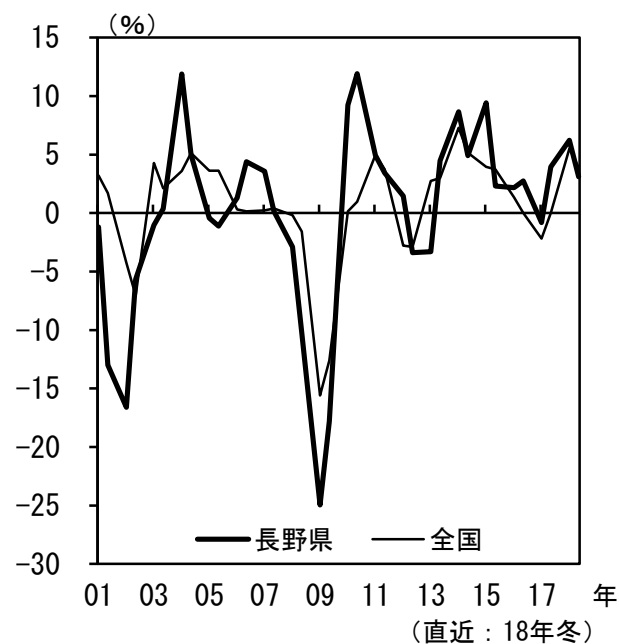
雇用・所得

▽ 平均賃上妥結額（前年比）



(出所) 長野県：長野県
 「春季賃上げ要求・妥結状況調査」
 全国：厚生労働省
 「民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況」

▽ 平均賞与妥結額（前年比）

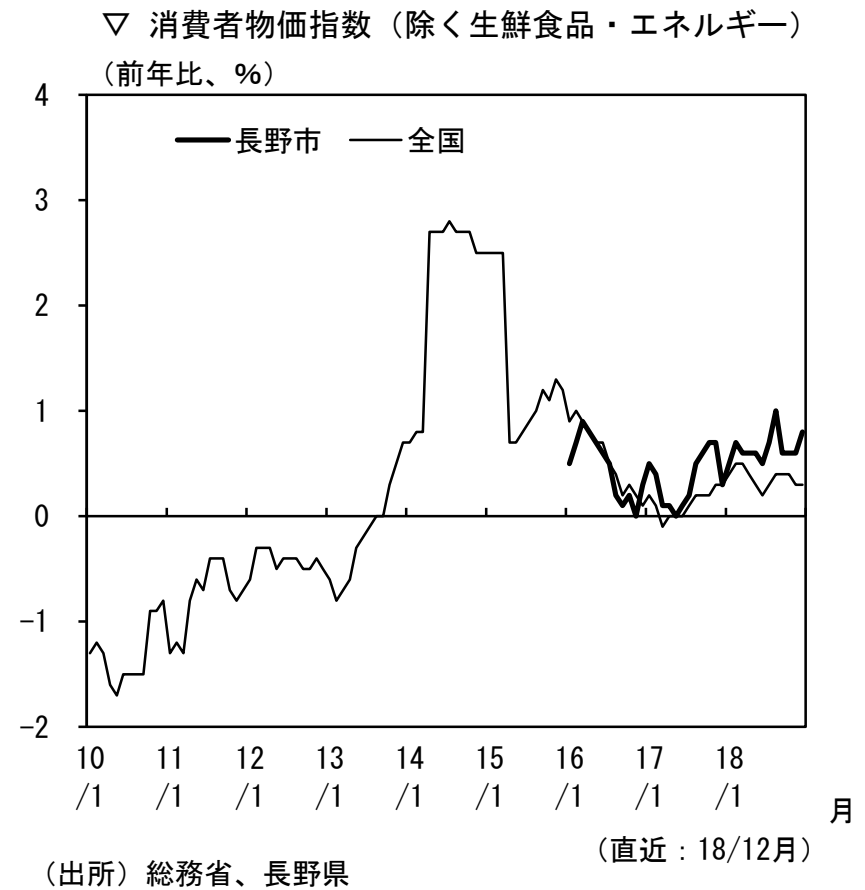


(出所) 長野県：長野県
 「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」
 全国：厚生労働省
 「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、18/12月は前年比で1%台半ばのプラスとなっている。

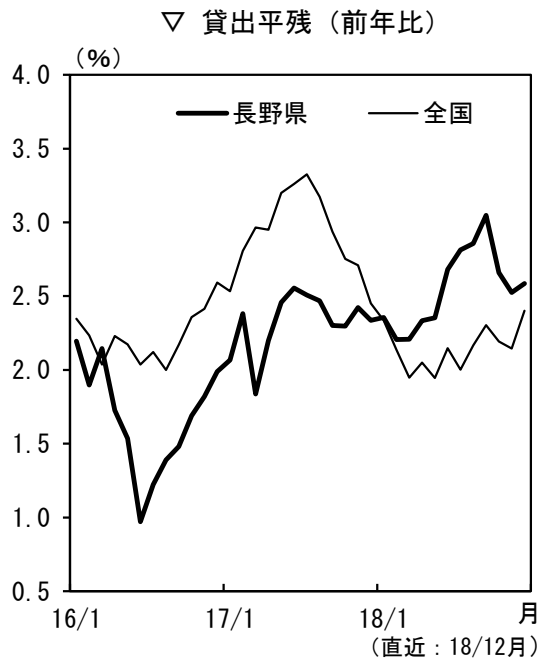


2. 金融

貸出金・預金

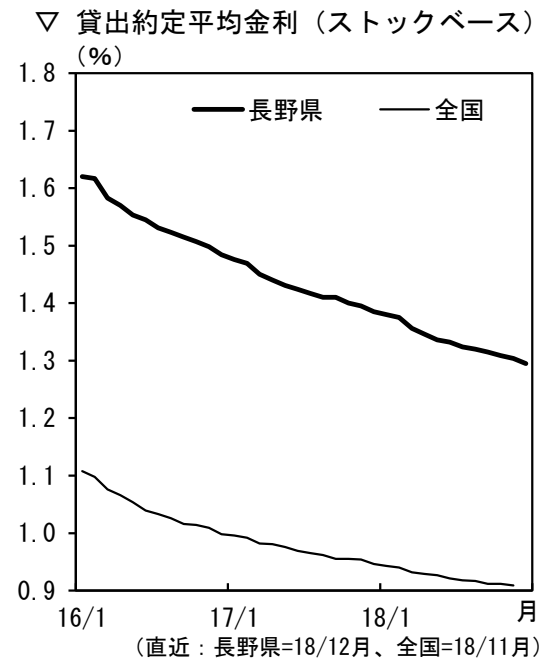
貸出金は、前年比で2%台半ばのプラスとなっている。企業向けは、運転資金需要が持ち直しつつあるほか、設備資金需要は増加している。個人向けは、住宅ローンを中心に緩やかに増加している。こうした中、貸出約定平均金利は、緩やかに低下している。

預金は、法人預金や個人預金の増加を主因に前年比で2%台半ばのプラスとなっている。



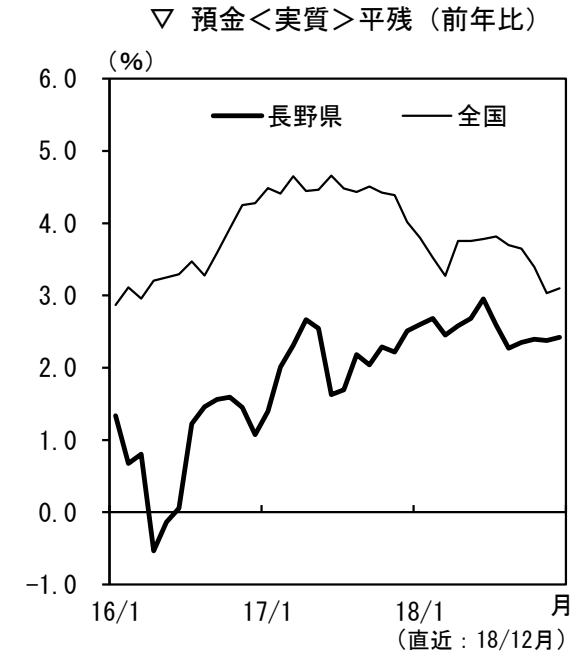
(出所) 日本銀行

(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。



(出所) 日本銀行

(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。



(出所) 日本銀行

(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+①）。
・「全国」直近データは速報。